

風は西から



平成 29 年 6 月 6 日 第 1 号

平成 29 年度「学びの変革」アクション・プランパイロット校事業
平成 29 年度 21 世紀型能力育成総合対策事業（海田西中学校区）

第 1 回授業研究協議会（H29. 5. 17）報告

平成 29 年度研究主題

主体的に学びを深める児童生徒の育成

～協働・対話による「課題発見・解決学習」授業づくりを通して～

1 授業について

○日時・学年 平成 29 年 5 月 17 日（水）14：20～15：10 海田西中学校 1 学年

内容・授業者 音楽 「音楽の要素と曲想の関わりに気を付けて聴こう」 授業者 西本 麻衣子教諭

○授業の流れ

本時の目標

「春」の音楽を形づくっている音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。

学習展開

1. 前時の想起
2. 本時の目標の確認

音色、旋律、テクスチャに注目して、曲の特徴を感じ取ることができる。

3. ソネット B を全員で聴き、特徴を聴き取る
4. ソネット C・D の 2 つを聴き、特徴を聴き取る
5. グループで感じ取った特徴を交流する
6. 全体交流

○授業者反省

- ・生徒の言葉を使って進めて行く中で、教師の言葉でまとめができなかった。
- ・ソネット B は全体で確認するだけの予定だったが、個人で考えさせる時間とってしまったので、その後の生徒の活動時間が窮屈になってしまった。

2 協議について（成果：◎ 課題・改善点：▲）

【協議の柱】

- A. 生徒の主体的な学びのための工夫がされているか。
- B. 協働・対話につながる手だてが効果的であったか。
- C. 深い学びにつながるような発問の工夫がされているか。

A について

◎初めての鑑賞の授業であったが、3つの視点を与えることで鑑賞のイメージが持て、難しい内容でも書こうとする姿が見えた。

◎小さい楽器が高い音、大きい楽器が低い音といったとき、楽器の名前が分からなくても教科書を開いたりして調べたりする姿が見られた。



▲テクスチュアとは何かと明確化する必要があるのではないか。

Bについて

◎どんな発言でも出来る学級の雰囲気があり共感的人間関係がしっかりつくられている。

◎視点を与えることで、話し合う方向性がはっきりしていた。

◎最初に何も書けなかった生徒が、他の生徒と話し合うことで、違う視点を持って関わりあいながら書いていく姿が協働の姿であった。

▲それぞれの楽器の音色の違いを知っていて鑑賞すれば、よりスムーズな流れだったのではないか。

▲補助教材として楽譜や映像などがあれば、視覚的な支援になったのではないか。

Cについて

◎前時の子どもたちのワークシートから意見を拾いあげ、本時の3つの視点につなげていたので、前時とのつながりが感じられた。

◎意図的指名をして子どもたちの意見をつなげていた。

◎教師の手（手振り）があることで、見えない音が見えるものになった。

▲曲想と鑑賞をする際の視点がどうつながっていくのかは3年間を通してつけていく必要がある。

○広島県教育委員会 義務教育指導課 黒小大介指導主事より（概要）

- ・平成30年度の全県展開に向けて、課題発見・解決学習の質の向上に取り組んで頂きたい。
- ・どの単元で「課題発見・解決学習」が可能なのか見極めることが大切である。

【「課題発見・解決学習」の単元計画を見直す視点、単元開発をするときに意識する視点】

- ・目標に迫る問いを、児童生徒から引き出しているか。
- ・児童生徒に課題解決の見通しを持たせているか。
- ・児童生徒にとって、課題解決に向かう必然性のある学習活動となっているか。
- ・児童生徒の深い学びを実現していく姿を具体的にイメージできているか。
- ・児童生徒が、自らの見方・考え方の高まりが学習の仕方を振り返ったり、それらを活用できる場面を考えたりする「振り返り」の場が設定されているか。
- ・どの教科においても、自分たちなりに解決方法を考えさせる、見通しを持たせる場面を意識することが大切。
- ・教師にとっての必然性と児童・生徒にとっての必然性がクロスできるように単元を仕組む。
- ・「深い学び」を実現した児童・生徒の姿を具体的に指導案に書く。そうすることで、授業の参観者もお互いに意見を述べあえる。
- ・単元開発をする際、構想段階で上記の視点を意識しながら授業づくりを行う。
- ・日々の授業改善、「課題発見・解決学習」のどちらも相互に大切にすることが生徒の主体的な学びにつながる。

○海田町教育委員会 学校教育課 藤井雅子指導主事より（概要）

「課題発見・解決学習」に向けて西中校区としてすぐ取り組めること

- ・教科の枠を越えて話し合う。
- ・児童生徒にどのような場面でのどのような会話をさせたいかを考え、指導案にも明記する。
- ・深い学びにさせるために、どのような支援を仕組むことが必要なか意識した授業づくりを行う。

○今後の予定 第2回研究授業 6月28日（水）海田小学校 道徳（2年2組） 授業者 加川 香 教諭

13：55～14：40 研究授業

15：00～16：35 協議等